



**盛岡市街にほど近い溪流に立地する発電所**

築川発電所は、岩手県が建設した築川ダムの洪水調整、流水の正常な機能維持、上水道の供給及び常時満水維持のために行う放流を利用した水力発電所です。

この発電所は、タブレット端末による運転制御が可能なシステムを導入し、従来の制御盤に比べ大幅な省スペースを実現しており、令和3年7月に営業運転を開始しました。



タブレット端末



築川発電所



築川ダム

発電所別		築川	
項目	単位		
水系河川名		北上川水系築川	
所在地		盛岡市川目	
形式		ダム式	
最大有効落差	m	50.65	
最大使用水量	m <sup>3</sup> /s	4.8	
最大出力	kW	1,900	
常時	kW	360	
年間供給電力量	百万kWh	11	
運転開始年月		令和3年7月	
水車	形式	横軸単輪単流渦巻フランシス	
	出力	kW	1,900
	使用水量	m <sup>3</sup> /s	4.8
発電機	回転数	rpm	600
	形式	横軸回転界磁三相同期	
	出力	kVA	2,400
ダム	電圧	V	6,600
	電流	A	210
	目的	治水・上水道・発電	
	形式	重力式コンクリートダム	
	堤高	m	77.2
	堤長	m	249.0
	体積	m <sup>3</sup>	228,480
総貯水量	m <sup>3</sup>	19,100,000	
有効貯水量	m <sup>3</sup>	16,700,000	
流域面積	km <sup>2</sup>	230.4	
湛水面積	km <sup>2</sup>	0.97	



**県営初の風力発電所 ～そして再開発～**

稲庭高原風力発電所は、県営初の風力発電所として平成13年9月に運転開始しましたが、経年劣化が進んだため、企業局として初めて主要機器一式を更新する再開発事業に着手し、令和4年7月1日に新風車が完成・運転開始しました。

新風車の最大出力は旧風車と同じ1,980kW（旧風車660kW × 3台、新風車1,980kW × 1台）ですが、高効率風車の採用により発電できる電力量は35%増えました。

発電所が設置されている稲庭高原は、稲庭岳（標高1,078m）の南東部裾野に広がる標高700m前後の高原で、強い西風の吹く場所として地元知られています。

新風車は、旧2号風車付近の牧草地に建設し、風車タワー下部の塗装を緑色のグラデーションとすることで、牧草との一体化を図り、周囲の景観に配慮しています。

項目	旧風車	新風車
発電所位置	二戸市浄法寺町山内地区	二戸市浄法寺町山内地区 (旧2号風車付近)
最大出力	1,980kW (660kW × 3基)	1,980kW (1,980kW × 1基)
年間発電電力量	410万5千kWh	554万4千kWh (旧風車の35.0%増)
風車の形式	水平、アップウインド	水平、アップウインド
風車高さ(全高)	75.5m	119m (高森高原風力発電所と同型式)
羽根の直径	50.5m	82m (高森高原風力発電所と同型式)
運転開始年月	平成13年9月	令和4年7月

